

外国人留学生特別選拔

平成 31 年度富山県立大学大学院工学研究科(博士後期課程)外国人留学生特別選抜学生募集要項

1 募 集 人 員

専 攻	募 集 人 員
機械システム工学専攻	若 干 名
知能デザイン工学専攻	若 干 名
情報システム工学専攻	若 干 名
環 境 工 学 専 攻	若 干 名
生 物 工 学 専 攻	若 干 名

2 出 願 資 格

日本の国籍を有しないで、在留資格が『留学』又は入学時に『留学』に変更できる見込みのある者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者及び平成 31 年 3 月までに修士の学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに取得見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

大学を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (4) その他に、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると、本研究科において認められた者
 - ※ 出願資格(3)又は(4)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行う。

3 出 願 手 続

(1) 出願手続方法

出願書類等を取りまとめて、本学所定の出願書類用封筒に入れ、出願期間内に『書留速達郵便』で郵送すること。なお、本人が直接持参してもよいが、この場合でも本学所定の出願書類用封筒に入れること。

※ 出願を希望する者は、出願に先立ち富山県立大学事務局教務課学生募集係へ問い合わせること。

(2) 出願期間

機械システム工学専攻 知能デザイン工学専攻 情報システム工学専攻 環 境 工 学 専 攻 生 物 工 学 専 攻	夏入試	平成 30 年 6 月 1 日(金)～7 月 6 日(金) (期間内必着とする。)
	冬入試	平成 30 年 12 月 7 日(金)～平成 31 年 1 月 7 日(月) (期間内必着とする。)

郵便事情を考慮して余裕をもって郵送すること。

出願期間後に到着したものは、受理しないので注意すること。

ただし、夏入試は 7 月 5 日(木)以前の、冬入試は 1 月 6 日(日)以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

持参された出願書類の受付時間は、午前 9 時から正午及び午後 1 時から午後 5 時までとする。ただし、年末年始(平成 30 年 12 月 29 日(土)～平成 31 年 1 月 3 日(木))、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

(3) 出願資格の審査

出願資格(3)又は(4)により出願を希望する者は、事前に出願資格の審査を行うので、次の必要書類(所定の用紙は出願手続先に請求)を、夏入試については平成 30 年 5 月 21 日(月)までに、冬入試については平成 30 年 11 月 30 日(金)までに提出すること。

なお、資格審査の結果は申請者あてに通知する。

提 出 書 類 等	摘 要
① 出願資格認定申請書	(所定の用紙)
② 成 績 証 明 書 (日本語・英語以外の言語 で記載されたものについ	最終出身校が発行し、厳封したもの

提出書類等	摘要
	ては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。)
③ 学術論文等の要旨	研究等に関連する論文がある場合には、その別刷 学術講演、特許等がある場合には、その写し又はその要旨 ※要旨は、日本語又は英語で記入すること。 (日本語の場合は1,500～2,000字程度、英語の場合は700～1,000語程度で記入)(所定の用紙)
④ 資格免許証等	専攻分野に関連する各種免許証等、参考となるとと思われる書類(写)等 (簡単な説明等を付すこと。)

(4) 出願手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係
〒939-0398
富山県射水市黒河5180
TEL 0766-56-7500 (代表)

(5) 出願書類等

出願書類等	摘要
① 入学志願票	(様式-2)
② 修士課程修了(見込)証明書	出身大学の学長又は研究科長が発行し、厳封したもの (本学出身者は、提出を要しない。)
③ 成績証明書 (学部、修士課程) (日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。)	出身大学の学長又は研究科長等が発行し、厳封したもの (学部及び大学院の成績証明書) (本学出身者は、厳封を要しない。)
④ 受験票・写真票	正面上半身無帽、背景なし、縦4cm×横3cm、出願受付日前3か月以内に単身で撮影した写真の裏面に志望専攻、氏名を記入し、定められた枠内に貼付すること。(様式-3)
⑤ 受験許可書	他大学大学院博士後期課程に在籍中の者は、学長又は研究科長の、官公庁、企業等に在職している者は、所属長の受験許可書又はこれに代わる書類を提出すること。(様式任意)
⑥ 返信用封筒	受験票の送付に使用するので、志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、362円切手を貼付すること。
⑦ 入学考査料	30,000円 本学指定の「平成31年度富山県立大学入学考査料振込依頼書 ^{博士後期試験用} 」を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く。)の窓口で納付すること。 納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、「入学考査料納付確認票」(様式-4)に全面をのり付けして出願書類に同封すること。 なお、本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学考査料は不要
⑧ 修士論文等の要旨	論文等の写し及びその要旨(修了見込み者については、現在の研究内容の概要) ※要旨・研究内容の概要は、日本語又は英語で記入すること。 (日本語の場合は1,500～2,000字程度、英語の場合は700～1,000語程度で記入)(様式-5)
⑨ 住民票	市区町村長発行の在留資格が記載されたもの(住民票が発行されない場合は旅券の写し)

出 願 書 類 等	摘 要
⑩ 保 証 書	(様式-8)
⑪ 研 究 計 画 書 } 機械システム工学専攻 } 知能デザイン工学専攻 } 情報システム工学専攻 } 環境工学専攻 のみ	本研究科での研究計画書 ※日本語又は英語で記入すること (様式-6)
⑫ 小 論 文 (生物工学専攻のみ)	下記の課題について、A4版2枚以内に日本語又は英語で作成し(日本語の場合は1,500~2,000字程度、英語の場合は700~1,000語程度で記入。ワープロでも可)、所定の小論文表紙に英語(150~250語)による要約及び氏名を記入し、小論文とともに綴じること。(様式-7) 「今後、取り組みたい研究分野・課題について」 (これまで学修してきたことを含めて記載すること。)
⑬ そ の 他	<p>ア 出願手続後の書類の変更は行わない。</p> <p>イ いったん受理した考査料は次の場合を除き、返還しない。 ①入学考査料を払い込んだが出願しなかった場合(出願が受理されなかった場合を含む) ②入学考査料を二重に払い込んだ場合 <返還請求方法> 「振込受付証明書」を貼付した入学考査料の返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学ホームページ(http://www.pu-toyama.ac.jp)で確認するか、本学へ問い合わせること。 送付先：富山県立大学 問合せ先：0766-56-7500(代表)</p> <p>ウ 障害のある志願者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ちあらかじめ申し出ること。 これにより、相談が必要となった場合は、以下による。 ○相談の期限 <夏入試> 平成30年5月21日(月)まで <冬入試> 平成30年11月30日(金)まで ○相談の方法 下記事項を記載した文書(様式は問わない。)及び医師の診断書を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者との面談等を行う。 ・志望専攻 ・障害の種類、程度 ・受験上の配慮を希望する事項 ・修学上の配慮を希望する事項 ・その他</p> <p>エ 連絡先 富山県立大学事務局教務課学生募集係 〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL 0766-56-7500(代表)</p>

4 選抜方法及び選抜試験期日

(1) 選抜方法

機械システム工学専攻 知能デザイン工学専攻 情報システム工学専攻 環境工学専攻	口述試験の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。
生物工学専攻	事前提出の小論文、修士論文の概要、口述試験及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。

(2) 選抜試験期日

試験区分	期 日 等	
	〈夏入試〉	平成 30 年 8 月 22 日 (水) 13:15～
	〈冬入試〉	平成 31 年 1 月 28 日 (月) 15:00～
機械システム工学専攻	口述試験 ・修士論文等の概要及び研究計画書に基づいて行う。 ・専攻分野に関連した質問を行う。 受験者は、修士論文等及び研究計画について 20 分程度で説明する。プロジェクト等を用いても構わない。	
知能デザイン工学専攻	口述試験 ・(1) 修士論文や学術論文等の概要または研究の経緯、(2) 博士後期課程における研究計画を、合わせて 20 分程度で説明する。プロジェクト等を用いて説明して構わない。 ・研究内容および研究計画について質疑を行う。	
情報システム工学専攻	口述試験 ・修士論文等の概要及び研究計画書に基づいて行う。 ・専攻分野に関連した質問を行う。 情報システム工学専攻では、プロジェクト等を用いて修士論文等及び研究計画に関する口頭発表(20 分)を行う。発表スライドを納めた PC または USB メモリを持参すること。	
環境工学専攻	口述試験 ・修士論文等の概要及び研究計画書に基づいて行う。 ・専攻分野に関連した質問を行う。	
生物工学専攻	面接(口述試験を含む) ・主に提出された小論文、修士論文の概要及び成績証明書等に基づいて行う。 また、専攻分野に関連した質問を行う。 受験者は、予め提出した修士論文の概要と小論文を踏まえて、自身の修士論文と研究計画の内容をパワーポイントなどのプレゼンテーションソフトにまとめて発表する(10 分間)。その後、発表内容に基づいて質疑応答を行う。 受験者は、希望する受入教員と予め連絡を取ること。	

(注) 集合時刻(別途案内)を厳守すること。遅刻した場合は受験できないことがあるので注意すること。

5 選抜試験会場

富山県立大学
〒939-0398
富山県射水市黒河5180

6 合格者発表

機械システム工学専攻 知能デザイン工学専攻 情報システム工学専攻 環境工学専攻	夏入試	平成 30 年 8 月 29 日 (水) 午前 10 時 (予定)
環境工学専攻 生物工学専攻	冬入試	平成 31 年 2 月 15 日 (金) 午前 10 時 (予定)

富山県立大学本部棟 1 階正面玄関前に掲示発表するとともに、合格者本人宛に郵便で通知する。また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載する。富山県立大学ホームページのアドレスは(<http://www.pu-toyama.ac.jp>)である。

なお、電話その他の問合せには一切応じない。

7 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続に要する書類等を取りまとめて、入学手続期間内に持参するか、又は封筒に『入学手続書類在中』と朱書の上、『書留速達郵便』で郵送すること。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 入学手続期間

平成 31 年 3 月 18 日（月）～20 日（水）（期間内必着とする。）

持参された書類の受付時間は、午前 9 時から正午及び午後 1 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

郵送の場合も、上記の手続最終日まで必着のこと。

在留資格認定証明書の交付申請等のため必要と大学が認めた場合は、入学手続を個別に早めて行うことがある。希望する者は、合格発表後に速やかに申し出ること。

(3) 入学手続先

富山県立大学事務局教務課学生募集係

〒939-0398

富山県射水市黒河5180

TEL 0766-56-7500（代表）

(4) 入学手続に要する書類等

提出書類等	摘要
① 誓約書	(所定の用紙) 生計を同一にしない者を含む2者による保証が必要となります。
② 入学料	ア 金額 282,000円 (富山県の住民の場合 188,000円) イ 納付方法 (ア) 本学指定の「入金振込依頼書」を使用し、金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く。)の窓口で納付すること。 (イ) 納付後、金融機関が発行した「振込受付証明書」に振込受付印が押印されていることを確認の上、入学手続書類に同封すること。 ウ ただし、本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料は不要
③ 写真 (1枚)	正面上半身無帽、背景なし、縦3cm×横2.4cm、入学手続日前3か月以内に単身で撮影したもの 裏面に専攻、氏名を記入すること。
④ 修了証明書 (日本語・英語以外の言語で記載されたものについては、日本語訳もしくは英訳を添付すること。)	修了見込みで受験した者のみ必要(本学出身者は提出を要しない。)
⑤ 返信用切手	485円切手
⑥ その他	住民票等 富山県の住民の場合のみ必要

入学料は平成30年4月現在

(5) 入学手続上の注意事項

① 『富山県の住民』とは、本人又はその者の配偶者若しくは1親等の親族が、平成30年4月1日から引き続き富山県内に住所を有する者及びこれに準ずると認められる者をいう。

なお、『富山県の住民』の認定は、住民票等によって行う。

② 入学手続が全て終了した者には、入学許可書を交付する。

③ 既納の入学料は次の場合を除き、返還しない。

- ア 入学料を過払いした場合
- イ 入学料を二重に払い込んだ場合

<返還請求方法>

「振込受付証明書」を貼付した返還請求書を本学へ郵送すること。請求書様式は本学へ問い合わせること。

送付先：富山県立大学

問合先：0766-56-7500（代表）

- ④ その他、入学手続の詳細については、別途通知する。

8 入学料・授業料等

(1) 入学料・授業料等

区 分	金 額	備 考
入 学 料	282,000円	本学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料は不要
富 山 県 の 住 民	188,000円	
授 業 料	535,800円 (年 額)	初年度の前期分は銀行振込、後期分・次年度からは口座引き落としとなる。 ※本学学生は前期から口座引き落としとなる。
学生教育研究災害傷害保険料	3,620円	3か年分
後 援 会 費	10,000円	3か年分

金額は、いずれも平成30年4月現在

(2) 奨学金・授業料減免制度

日本学生支援機構及び各種奨学金制度がある。

また、学業成績が優秀で、経済的理由により、授業料の納入が困難であると認められる者等については、授業料の全額又は半額を免除する制度がある。

9 そ の 他

- (1) 提出する書類は黒インク又は黒のボールペンを用い、文字は楷書で、数字は算用数字で記入すること。
- (2) 様式の※印欄は何も記入しないこと。
- (3) ミシン目は切り離さないこと。
- (4) 提出された書類の変更及び返還並びに納入された納付金の返還は行わない。
- (5) 入学許可を受けた者が、修士の学位を取得できなかった場合は、入学を取り消す。
- (6) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学を取り消すことがある。
- (7) 受験票は、出願書類等を受理した後速やかに本人宛に送付するが、選抜試験期日前日になっても受験票が到着しない場合及び選抜試験期日前に受験票を紛失した場合は、富山県立大学事務局教務課学生募集係へ連絡すること。
- (8) 学生募集要項の郵送を希望する者は、郵便番号、住所及び氏名を明記し、400円切手を貼付した返信用封筒〔角型2号(332mm×240mm)〕を同封し、富山県立大学事務局教務課学生募集係宛に『工学研究科（博士後期課程）学生募集要項請求』と朱書して請求すること。
- (9) 志願者から提出された出願書類に記載されている氏名、住所等の個人情報については、本学の入学選抜の目的以外で利用することや、第三者に提供することはない。